

三菱UFJ 純金ファンド

追加型投信／国内／その他資産（商品）

愛称：フィンゴールド

第6期（決算日：2017年1月20日）

作成対象期間
（2016年1月21日～2017年1月20日）

第6期末（2017年1月20日）	
基準価額	11,665円
純資産総額	7,929百万円
騰落率	7.1%
分配金合計	0円

受益者のみなさまへ

投資家のみなさまにはご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

三菱UFJ 純金ファンドは、このたび第6期の決算を行いました。

当ファンドは、純金上場信託（現物国内保管型）受益証券への投資を通じて、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざして運用を行ってまいりました。

当期の基準価額は投資対象である純金上場信託にほぼ連動する形で推移しました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、当ファンドの運用方針を堅持し、わが国の取引所における金価格の動きをとらえることをめざします。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記〈照会先〉ホームページにアクセスし、「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、ファンドの詳細ページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

〈照会先〉

- ホームページアドレス
<http://www.am.mufg.jp/>
- お客さま専用フリーダイヤル
0120-151034
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、
土・日・休日・12月31日～1月3日を除く）



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

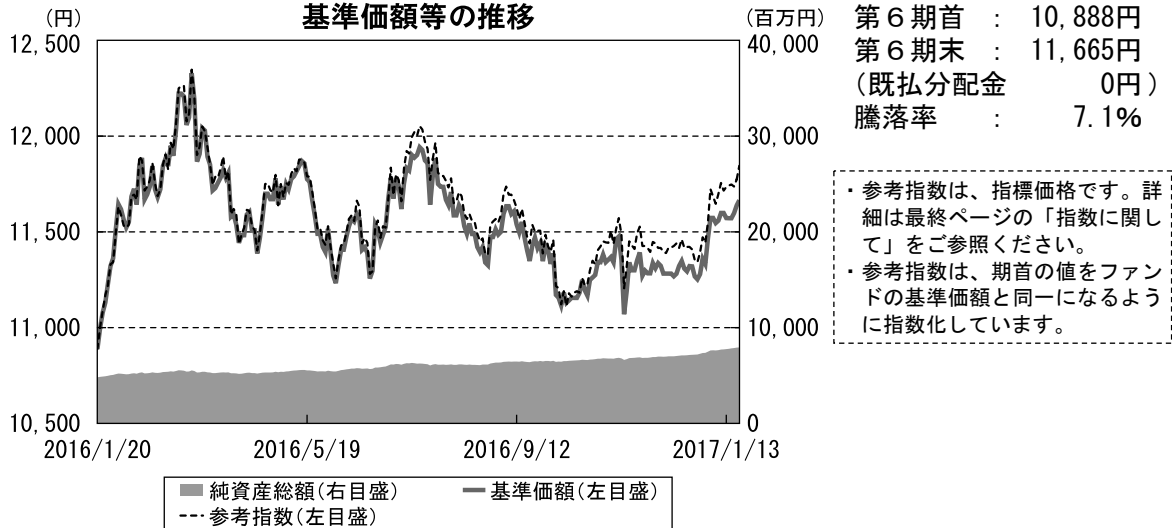
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第6期：2016/1/21～2017/1/20)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.1%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因	金価格が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	円高・米ドル安となったことが基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2016年1月21日～2017年1月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 63	% 0.542	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(28)	(0.244)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.244)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	63	0.545	
期中の平均基準価額は、11,552円です。			

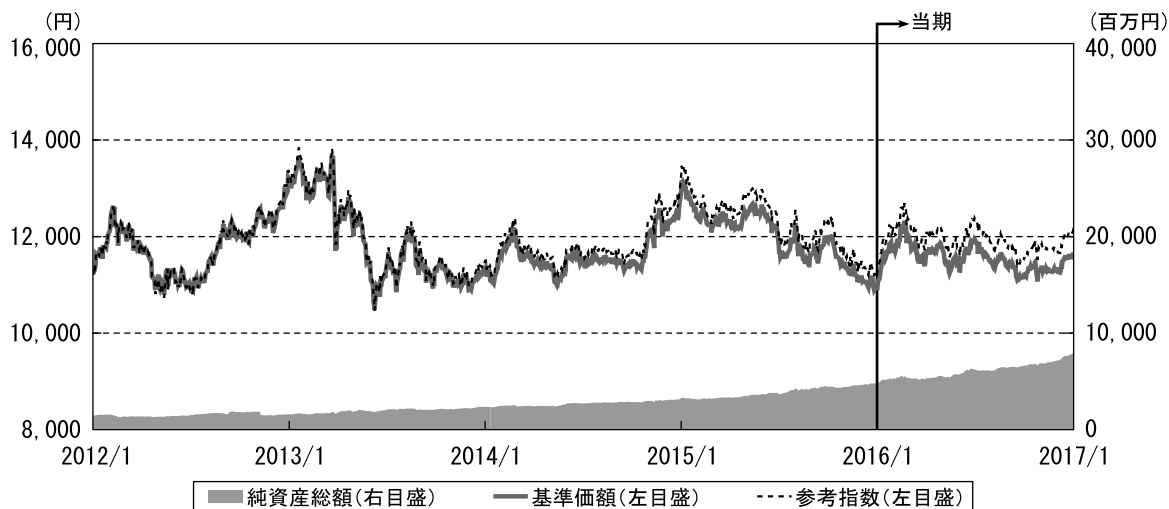
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2012年1月20日～2017年1月20日)



・参考指数は、2012年1月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

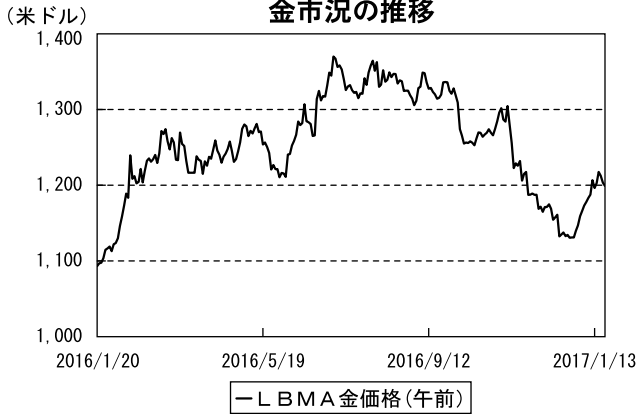
	2012/1/20 期初	2013/1/21 決算日	2014/1/20 決算日	2015/1/20 決算日	2016/1/20 決算日	2017/1/20 決算日
基準価額 (円)	11,217	13,182	11,324	12,953	10,888	11,665
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率	—	17.5%	-14.1%	14.4%	-15.9%	7.1%
参考指数騰落率	—	18.6%	-13.6%	15.5%	-15.7%	8.8%
純資産総額 (百万円)	1,448	1,591	2,374	3,255	4,809	7,929

参考指数は、指標価格です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(第6期：2016/1/21～2017/1/20)

投資環境について

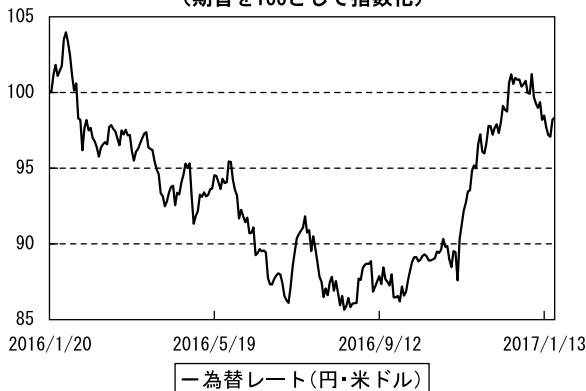
金市況の推移



◎金市況

- ・期首から2016年6月にかけては、世界的な景気減速懸念を受け、安全資産としての金に対する評価が高まり、「LBMA金価格(午前)」は上昇しました。
- ・6月下旬に行われた英国の国民投票で欧州連合(EU)からの離脱が過半数を超えたことやイタリアの銀行債務に対する懸念の強まりなど、先行き不透明感が強まり、金価格はさらに上昇する局面もありました。
- ・11月上旬に行われた米国大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、積極的な財政政策期待を背景に長期金利が上昇、ドル高が加速して、ドルの代替資産とされる金価格は下落しました。
- ・2017年から期末にかけては、急激な為替変動に対する警戒感が強まり円高・ドル安となり、ドルと逆相関が生じやすくとされる金価格は上昇しました。期を通じてみると金価格は上昇しました。

為替市況の推移
(期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・期首から2016年11月初旬にかけては、強弱入り混じる米国経済指標や世界的な景気減速懸念などから世界的に低金利状態が続くとの見方が根強く、円高・ドル安が進みました。
- ・米国大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、積極的な財政政策期待を背景に長期金利が上昇、円安・ドル高が急激に進みました。
- ・2017年から期末にかけては、急激な変動に対する警戒感が強まり、円高・ドル安となりました。期を通じてみると、円高・ドル安となりました。

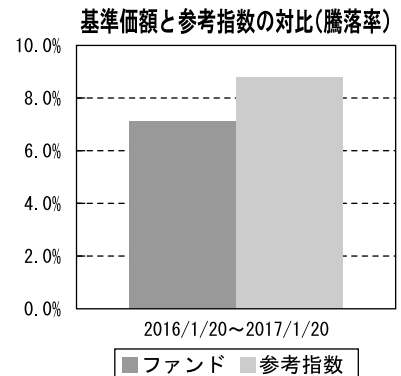
当該投資信託のポートフォリオについて

◎参考指数との比較

- ・ 金価格の上昇幅が大きく、円高・ドル安によるマイナス影響を上回り、円ベースの金価格は上昇しました。その結果、参考指数は期首と比べて8.8%の上昇となり、当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」についても、7.7%上昇しました。
- ・ 当ファンドと参考指数との乖離は $\Delta 1.7\%$ 程度となりました。このうち、 $\Delta 1.1\%$ 程度は、参考指数と当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」の値動きが必ずしも一致しないことに起因するものです。また、 $\Delta 0.6\%$ 程度は、当ファンドにおいて一定のキャッシュを保有していることや信託報酬、取引コスト等によるものです。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・ 当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・ 参考指数は指標価格です。



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第6期
	2016年1月21日～2017年1月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,628

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

純金上場信託「金の果実」を高位に組み入れることにより、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。

お知らせ

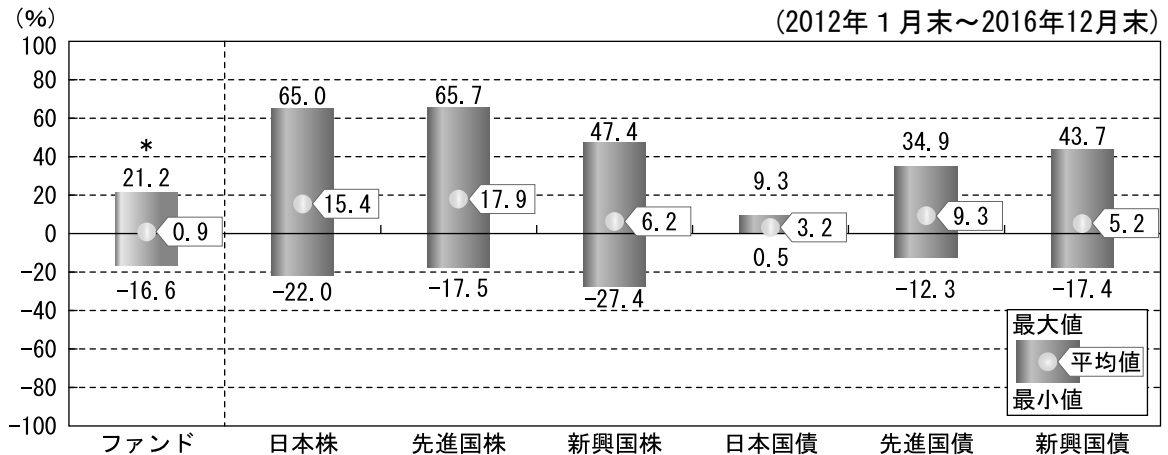
- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
（2016年10月20日）
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／その他資産（商品）
信託期間	無期限（2011年2月7日設定）
運用方針	主として純金上場信託（現物国内保管型）受益証券への投資を通じて、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。純金上場信託（現物国内保管型）受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。
主要投資対象	純金上場信託（現物国内保管型）受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2012年1月から2016年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

* ファンドについては2012年2月～2016年12月の同様の騰落率を表示したものです。

○各資産クラスの指数

- 日本株 : TOPIX (配当込み)
- 先進国株 : MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)
- 新興国株 : MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
- 日本国債 : NOMURA-BPI (国債)
- 先進国債 : シティ世界国債インデックス (除く日本)
- 新興国債 : JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2017年1月20日現在)

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	純金上場信託(現物国内保管型)	ETF	日本	—	99.9%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

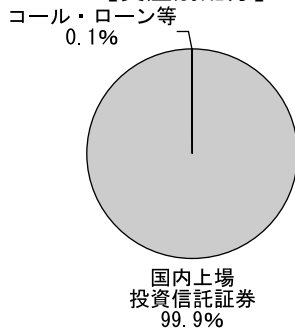
純資産等

項目	第6期末 2017年1月20日
純資産総額	7,929,699,838円
受益権口数	6,797,850,692口
1万口当たり基準価額	11,665円

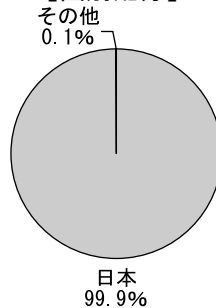
- ・当期中において
追加設定元本は 4,330,149,668円
同解約元本は 1,949,944,995円 です。

種別構成等

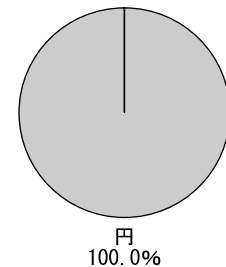
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

○ファンドの参考指数である『指標価格』について

当ファンドの参考指数（指標価格）は、東京商品取引所における金1グラム当たりの先物価格をもとに現在価値として三菱UFJ信託銀行が算出した理論価格です。参考指数（指標価格）は、日本における金の店頭小売・買取価格や海外で公表される取引価格とは異なります。

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

シティ世界国債インデックス（除く日本）

シティ世界国債インデックス（除く日本）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信